

平成30年度第1回宮古市都市計画審議会 会議録

1 開催日時	平成30年8月7日(火) 午後1時54分から午後2時47分
2 場所	宮古市役所 6階 大会議室
3 案件	議案第1号 宮古市の都市計画に関する基本的な方針(宮古市都市計画マスタープラン)の見直しについて
4 出席者	<p>[審議会委員]</p> <p>宇佐美 誠史 (岩手県立大学総合政策学部准教授(会長)) 鴨志田 直人 (岩手大学理工学部助教) 木村 誠 (宮古市議会議員) 畠山 茂 (宮古市議会議員) 小島 直也 (宮古市議会議員) 鳥居 晋 (宮古市議会議員) 佐々木 清明 (宮古市議会議員) 田中 誠柳 (国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所長) 下澤 治 (国土交通省東北地方整備局釜石港湾事務所長)</p> <p>(代理出席: 菊池企画調整課長)</p> <p>上澤 和哉 (岩手県沿岸広域振興局土木部宮古土木センター所長) 花坂 康太郎 (宮古商工会議所会頭) 楡桁 彩子 (公募) 戸田 麻子 (公募)</p> <p>[事務局]</p> <p>小前 繁 (参与兼都市整備部長) 去石 一良 (都市整備部都市計画課長) 小山田 克彦 (都市整備部都市計画課管理計画係長) 金澤 利幸 (都市整備部都市計画課計画係主査) 藤島 裕久 (都市整備部都市計画課計画係主任技師)</p>
5 欠席者	飛澤 教男 (宮古市農業委員会会長)
6 傍聴人	なし
7 会議内容	【別紙】のとおり。

【別紙】

発言者	内 容
事務局 (都市計画課管理計画係長)	<p>1 開会</p> <p>皆様、お疲れ様でございます。</p> <p>ただいまから、平成30年度第1回宮古市都市計画審議会を開催いたします。</p> <p>本日の会議でございますが、現在、審議会委員総数14名のうち、13名のご出席をいただいております。従いまして、宮古市都市計画審議会条例第5条第2項に定める定足数に達し、会議が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>なお、飛澤委員につきましては、都合により欠席する旨のご連絡をいただいております。また、本日は、釜石港湾事務所下澤所長の代理として、企画調整課長の菊池様が出席されております。よろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>会議資料に不備がございましたら、事務局までお知らせください。</p> <p>それでは、開会に当たり、参与兼都市整備部長よりご挨拶を申し上げます。</p>
事務局 (参与兼都市整備部長)	<p>2 挨拶</p> <p>委員の皆様には、今日、お足元の悪い中、また何かとお忙しいところ、本日の都市計画審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>今日、ご審議いただきます、都市計画マスタープランにつきましては、平成28年度以来、3ヶ年の期間を要して、本都市計画審議会における審議のほか、さまざまな場で検討がされてまいりました。</p> <p>具体的には、庁内の関係課長等により構成される幹事会、関係部長等により構成される委員会、それから市内各界の市民により構成される市民委員会、市議会における議論などがございます。さらに全市域における市民説明会、岩手県との協議、それからパブリックコメント等を経ました。このようなプロセスを経て、今般、最終案として、本日の審議会にお諮りすることとなったものでございます。</p> <p>この間における、委員の皆様方からのご理解とご協力に対し、深く感謝申し上げる次第でございます。</p> <p>本日は、岩手県との協議内容、パブリックコメントの内容、都市計画マスタープランの最終案、今後の進め方など、前回の審議会以降の調整等を行ったことを説明を行い、そして、ご審議をいただきまして、答申をお願いすることといたしております。</p> <p>皆様方からの忌憚のないご意見をいただきますことを期待いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局 (都市計画課管理計画係長)	<p>続きまして、会長にご挨拶をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>よろしくお願いいたします。</p> <p>今日、もうちょっといい天気かと思ったら、結構な雨で、このような中をお集りいただいて、ありがとうございます。</p> <p>今、部長からもありましたけども、3ヶ年に渡って議論いただいている、やっとな今日、最後を決めるところまでできました。その途中で、復興関連の事業がどんどん進行してい</p>

発言者	内 容
事務局 (都市計画課管理計画係長)	<p>ったり、最近だと、宮古室蘭のフェリーが開設したり、今度、9月2日には自由通路のオープンがあったりとかですね、宮古市に関する話題としては、前向きなこと、いいことが多いなと思っています。</p> <p>このマスタープランは、これから何十年間かのまちづくりの、地域づくりの後押しになるものと思っております。</p> <p>今日も、活発な議論を交わして、最後は決めて終わりたいと思います。</p> <p>どうぞ、よろしくお願ひいたします。</p> <p>3 議事</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入らせていただきたいと思います、これからの進行につきましては、都市計画審議会条例第4条第2項の規定に基づきまして、会長に議長をお願いいたします。</p>
議長 (会長)	<p>それでは、議案の審議に入ります。</p> <p>当審議会の審議に関しましては、宮古市審議会等の会議の公開等に関する規程に基づきまして、原則として公開することとしています。</p> <p>案件によっては、例外的に非公開とする場合がありますが、本日の案件が公開に適する案件かどうかについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (都市計画課管理計画係長)	<p>今回の案件につきましては、審議会等における公正かつ円滑な議事運営に対しまして、著しい支障を生ずるおそれが見込まれる案件ではございませんので、会議を公開すべきものと考えております。以上でございます。</p>
議長 (会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日の会議は事務局から説明があったとおり、全部公開したいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>(「異議なし」と呼ぶものあり。)</p>
議長 (会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>本日の会議は全部公開することに決定いたしました。</p> <p>それでは、本日の議案であります、議案第1号、宮古市の都市計画に関する基本的な方針(宮古市都市計画マスタープラン)の見直しについての審議に入ります。</p> <p>はじめに、資料について、事務局より一括して説明をお願いいたします。</p>
事務局 (都市計画課主任技師)	<p>(提出資料により説明)</p>
議長 (会長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>説明いただきましたけども、ご質問、ご意見等はありませんでしょうか。</p>
委員 (委員)	<p>資料2、5の(1)、3ページですね、パブコメで都市計画の廃止に関して、反対意見が出てまして、その回答ということで、三沿道、宮古盛岡横断道の整備で自動車交通</p>

発言者	内 容
議長（会長）	<p>量が大きく減少すると予測されているという回答でした。</p> <p>一方、マスタープランの方で、71 ページになりますけども、主要道路の将来交通量というのが掲載されておりますが、これに対する路線の交通量が71 ページには記載がないように見えるんですが、大きく減少という回答なので、何百台が、交通量がどれくらい減少するのかというのを教えて欲しいのと、もし予測されているのであれば、この71 ページにもですね、予測している数値を記載した方がよいのではないかという意見です。</p>
議長（会長）	はい、お願いします。
事務局（都市計画課主任技師）	<p>ありがとうございます。図がちょっとわかりにくいのかなと思います。71 ページをご覧ください。</p> <p>ご意見をいただきましたのは、八幡沖保久田線という路線でございます。上の段の2014年、平成26年再現交通量、現況交通量を再現したという意味ですが、右上の方に3・6・20 八幡沖保久田線、(9)とございます。これは9百台という意味でございます。それが将来予測になりますと、同じ位置で下の段に下がっていただきますと、八幡沖保久田線、(1)とございます。現況で9百台ですけれども、将来的には百台ぐらいになります。図の表示が小さくて恐縮です。そういう内容でございます。全体的に交通量が減少するというものです。</p> <p>もう一つ代表的なものをあげますと、上の段の八幡沖保久田線の右に宮古港線というのがあります。これは末広町の通りですが、(61)と、現況6千百台の意味です。同じ位置で下に下がっていただきますと、宮古港線、(12)、千2百台という予測結果になっています。いずれ何分の一かに減少すると、中心部全体も現況から見て、もう何分の一になっていくというような状況でございます。</p> <p>図が小さくて、大変失礼しましたが、そういう状況でございます。</p>
議長（会長）	ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
議長（会長）	はい、お願いします。
委員（委員）	資料1の番号1のところですね、本編の方、先ほど説明ありましたように、エコ・コンパクトシティの実現のための具体的な内容は書かれていたと思うのですが、その次の、また、のところですね、定義を再確認し、用語の脚注を入れるようにお願いします。というところは、今回は対応しなくても大丈夫でしょうか。
議長（会長）	お願いします。
事務局（都市計画課主任技師）	脚注の形に変えまして、39 ページの社会環境のところ、39 ページの下段の「3、社会資本維持コスト増大への対応と集約型都市構造への転換」の一番下の、「このため」からの5行を入れることで、全国的にこういう動きがあるという説明に変えたというものでございます。
事務局（都市計画課長）	補足でございますが、この点につきましては、岩手県さんの方と協議いたしまして、ご了解をいただいております。

発言者	内 容
委員	<p>わかりました。ちょっと思ったのは、昔だとコンパクトシティというのが盛んに叫ばれて、最近になって国交省でコンパクトシティにエコをつけるようになったので、その違いというのがどの程度、周知されているのかというのが心配でしたので聞いてみました。</p>
事務局(都市計画課主任技師)	<p>本来はコンパクトシティという考え方でございますが、最近は特に地球環境問題でありますとか、循環型社会の形成ということも含めて、エコをつけて使うことが多くなっているという状況でございます。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
議長(会長)	<p>ほかにいかがでしょうか。 図表がくっきりしているものと、くっきりしてないものがあってですね、最後にくっきりしたものに変わっていただけるとうれしいのですが。</p>
事務局(都市計画課主任技師)	<p>ありがとうございます。我々も現時点でうまく印刷できなくて苦慮しておりますが、最終的な印刷段階におきましては、専門の方をお願いして、さらに明確にしていきたいと思います。</p>
議長(会長)	<p>例えば 23 ページの用途地域の図など、見づらいのが結構あるのでお願いいたします。</p>
事務局(都市計画課主任技師)	<p>最終的に専門の印刷の方で工夫したいと思います。</p>
議長(会長)	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>素朴な質問ですが、71 ページの将来交通量は、どこからもってきたのですか。</p>
事務局(都市計画課主任技師)	<p>将来交通量につきましては、全体の宮古市を含む周辺の交通量予測というのをいたします。それは宮古市から発生する、宮古市に集中する交通量もあれば、逆に宮古市を通過する交通量もございますけども、これは現況再現でも同じようなことをするわけですが、一つのモデルといいますか、発生集中量の原単位に基づいた計算をして交通量を予測いたします。これは、人口であったり、産業であったり、そういう構成であったり、手段であったりするわけですが、同じような条件下で交通量予測をして、現況再現し、将来を計算いたします。そのときに何が一番変わるかといいますと、三沿道、横断道、北部環状ができておりますので、通過交通は、ほとんどそちら側に流れてしまう。本当に中心部の交通というのは、まちなかにご用のある、まちなかの発生集中の交通量に限られてくるという形の条件になりますので、ご覧のような形で中心部の交通量が相対的に減少するというような予測結果になっているというものでございます。</p>
委員	<p>例えば、2014 年の真ん中の 88 というのは魚菜市場の辺りだと思うのですが、この 88</p>

発言者	内 容
事務局 (都市計画課主任技師)	<p>が将来の交通量は、59に減るとするのは、どういうわけでしょうか。</p> <p>現況再現で8千8百台くらい、魚菜市場の辺りであります。大きな発生集中のある魚菜市場の周辺にありますと、数字が上がります。</p>
委員	<p>そういう理屈からすれば、今度は、15のところは将来は56になっている。これは多分、三沿道から降りてくる車だと思っけれども、59ということは、魚菜市場の影響というのが将来は、全然ないということになるわけですか。</p>
事務局 (都市計画課主任技師)	<p>ないということではないと思いますけども、やっぱり相対的な交通量の減少が見込まれます。ただ、おっしゃったように15が56という見方がどうか、ということもありますが、逆にいうと北部環状、三沿道との主なアクセス道路になりますので、そこには交通量がのってくる部分があります。</p>
委員	<p>横町辺りの4千百台はわかるけど、末広町があんなに急激に少なくなるものですかね。</p>
事務局 (都市計画課主任技師)	<p>これは一つの条件、同じ条件下での予測結果でございます。</p>
委員	<p>ずっと60できていて、それが末広町にきたときに12になってしまうという。104できたのが59、半分になって、60であれば、30ぐらいなのかなと。この数字、かなりいいかげんな数字なんじゃないかなと。よくよく見ていくとかなり矛盾がある数字ですよ。</p>
事務局 (参与兼都市整備部長)	<p>これはコンピューターによるシミュレーションで、どういう条件をもってコンピューターを回すかということに変わってきます。おっしゃる様に現状をきちっと再現できていないというところはあるんですが、概ねの傾向というのはわかってきます。お金をかければかけるほど、精度よくやれます。それで、全体が減ってきている理由は今申し上げました、三沿道等の道路ができるというのが一つと、もう一つは、宮古の人口が減ると、これもかなり影響を及ぼしております。主にそのような2つの理由で、かなりまちなかの交通量が減ってくるだろうという予測をしております。</p> <p>具体の各路線の交通量につきましては、実際の事業を行うときとか、そういうときにもっとお金をかけて精度よく調査をするということになります。全体のマスタープランレベルでは、この程度のものかなと思っています。</p>
委員	<p>どうも違う気もするが、いいです。</p>
議長 (会長)	<p>はい、ありがとうございます。ほかは、いかがでしょうか。</p> <p>どうでしょう、皆さんご確認いただけたでしょうか。</p>
委員	<p>これは平成42年の予測数量だから、三沿道とか、宮古盛岡横断道路ができたりして、それが32年、そのときにもう一回調査をして、正しいだろうという数字を入れた方がいいと思います。</p>

発言者	内 容
事務局 (参与兼都市整備部長)	それは、道路の整備効果の検証ということでも必要だろうと思います。
委員	これはね、今の時点で予測するというのは無理があるような気がします。
議長 (会長)	<p>それでは、これで議論の方を終了してもよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」と呼ぶものあり。)</p>
議長 (会長)	<p>それでは、本日の議案であります、宮古市の都市計画に関する基本的な方針(宮古市都市計画マスタープラン)の見直しにつきまして、案のとおりに認めることとし、答申することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」と呼ぶものあり。)</p>
議長 (会長)	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、宮古市の都市計画に関する基本的な方針(宮古市都市計画マスタープラン)の見直しにつきまして、案のとおりに認めることといたします。</p> <p>以上で本日の議題はすべて終了しました。委員の皆様には、審議会の円滑な運営にご協力いただきありがとうございました。</p> <p>では、会の進行を、事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局 (都市計画課管理計画係長)	<p>会長、大変ありがとうございました。</p> <p>これもちまして平成30年度第1回宮古市都市計画審議会を閉会とさせていただきます。</p>